

今月の「未来へつなぐ」では、“30年ぶりに復活したテニスコート”と“最近のENTRANCEの動き”などについて書いてもらっています。



(一社)安平町復興ボランティアセンター
センター長 井内 聖

～震災から1年～

誰も予想していなかった深夜の大地震。電気が消え、水が止まり、電話もつながらず、余震もつづくそんな状況の中、全道全国から延べ4,000人を超えるボランティアの方が安平町に来てくれました。「復旧から復興へ、復興は自分たちの手で」ボランティアの力も借りながら前へ進むため復興ボランティアセンターを立ち上げました。あれから1年、気が付くともう1年経ったのかと感じます。

「こうすればよかった、あれもやりたかった」自分たちの力不足を感じながら、ここまで活動できたのは地域の皆さんの理解と協力があったからこそです。本当にありがとうございました。復興への道のりは始まったばかりです。あの日よりも良いまちに、あの日よりもっと安平町が好きになる。そんな安平町になるようこれからもできること、目の前の事に精一杯動いていきたいと思います。

30年ぶりにテニスコートが復活！



整備されたグラウンドで早速練習！

いきます」と話してくれました。その後、早中テニス部女子団体は2年連続となる全国大会出場を果たしてくれました！

「本当に整備して良かった」と心から思う瞬間。ありがとう!!

7月14日(日)、早来小学校のテニスコートの修復作業を早中テニス部員、保護者、ボランティア、復興ボラセンメンバーの計26名で行いました。この場所を「テニスコート」として使うのは“30年ぶり”。駆けつけた先生も感慨深そうにしていました。作業を手伝ってくれたテニス部員の子たちは「使えるようになって嬉しい、これからは自分たちでしっかり管理して



「みんわらウィーク」ボラセンブースが札幌で大盛況 & 大好評！！



8月3日(出)、4日(日)と2日間に渡り、札幌のコンベンションセンターにて開催された吉本興業主催イベント「みんわらウィーク」に復興ボラセンメンバー総出で出陣。屋外の「物販チーム」、屋内の「あびらぼチーム」に分かれ、それぞれでイベントブースを運営し、安平町のPRをしてきました。

物販チームは厳しい暑さの中でしたが、ボランティアさん方のご協力もあり、2日間しっかりと道の駅商品の物販をやり切りました。

屋内のあびらぼチームは1か月ほど前から準備してきた「答えのない問題」をクラフト系のワークショップ(ランダムに選ばれたお題に沿ってダンボールで家を作る、絵を描く、塗る)として、小学生を対象に開催。自分たちが予想していたよりも多くのお客さんにこのワークショップを体験してもらい、安平町の「新しい学び」を紹介することができました。お笑い芸人のお手伝いもあり、会場は終始笑顔で溢れていました。「面白い！楽しい！」という声もたくさん聞こえ、参加してくれた多くの親子に満足感溢れる笑顔が浮かんでいました。



ENTRANCEの使い方を子どもから大人まで全員で考える。



8月9日(金)「ENTRANCE活用ワクワクミーティング」がJR追分駅前、旧宮内薬局で開催されました。復興ボラセンが現在全力で取り組んでいるENTRANCEプロジェクト。今回は約30名ほどの参加者の方とともに、「この場所がどんな場所になって欲しいか。」「どのように使いたいか」という、この場所の活用方法についていろんなアイデアを出し合いました。今回はなんと早来の中学生も参加してくれて、幅広い層の意見を聞くことができました。今後も何度か話し合いの機会を設け、みんなでこのENTRANCEを作り上げていけたらと思います。

(一社) 安平町復興ボランティアセンター

TEL : 070-3139-0374 MAIL : abira.fukkouborasen@gmail.com

記事提供
編集・校正

安平町復興ボランティアセンター
安平町役場総務課情報グループ